

概要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 昨日（12日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約800名態勢で活動。
昨日 （12日） の 自衛隊の 主な活動	【主な活動部隊等】 陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本） 等 【給水支援活動（1市1箇所）】 ○ 給水車1両 ・ 宇城市において、入浴支援のための給水を実施。 【入浴支援（2市2箇所）】 （シャワーによる入浴支援） ＜宇城市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後9時まで実施。 ※小川防災拠点センターでの自衛隊による入浴支援は9月13日をもって終了予定。 （PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援） ＜八代市（1箇所）＞ ○ PFI船舶「はくおうⅡ」、PFI船舶支援隊（県庁で連絡員として勤務） ・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、入浴支援等の提供を午前10時から午後2時、午後3時から午後7時まで実施。 ・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、9月11日から2泊3日の宿泊支援及び食事支援の提供を実施。 ※「はくおうⅡ」による入浴・宿泊支援は9月13日をもって終了予定。 【連絡員の派遣状況】 ○ 熊本県庁等に、2箇所・6名派遣。
活動の様子	 【宇城市】陸自による入浴支援準備の様子 ※8/8撮影  【宇城市】陸自による入浴支援の様子 ※8/5撮影  【八代市】「はくおうⅡ」船内の様子